

**泉佐野泉南医師会圏域**

**医療と介護・多職種連携  
に関するアンケート**

**調査結果**

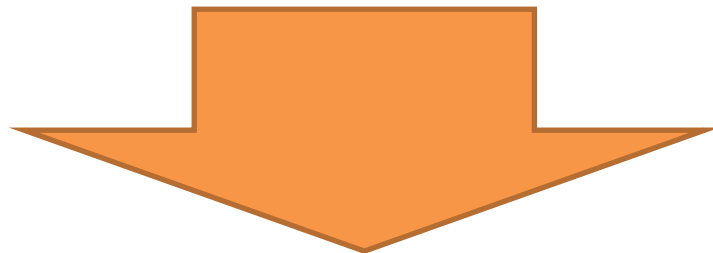
**〔歯科医師〕**

《在宅医療円滑化ネットワーク事業》

泉佐野泉南医師会

## 1. アンケート調査の目的

- 高齢化の進展に伴い医療と介護の双方を必要とするシームレスな医療提供体制の整備が必要
- 「共通認識」を持つことは、この泉州地域でいつまでも暮らし続けたいと願う高齢者にとってきわめて重要
- 高齢者一人ひとりのライフステージにあった「地域包括ケア体制」の構築の実現に向けた課題抽出



関連する職種にアンケート調査を実施

## 2. アンケート調査の概要

### 1) 実施状況

○実施期間	平成25年1月7日～1月19日
○調査基準日	平成25年1月1日
○調査方法	郵送による配布・回収及び無記名調査
○調査対象者	泉佐野泉南医師会圏域の <ul style="list-style-type: none"><li>・医師(診療所医師)</li><li>・歯科医師</li><li>・薬剤師</li><li>・病院地域医療連携室(MSW)</li><li>・介護支援専門員(ケアマネジャー)</li><li>・訪問看護ステーション</li><li>・地域包括支援センター</li><li>・行政</li></ul>

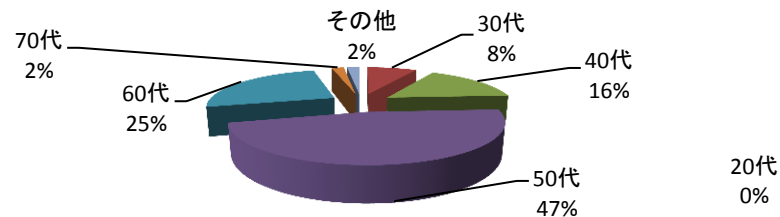
### 3.アンケート回収状況と回収率

	有効回収数 / 配布数	回収率
医師(診療所医師)	105 / 158	66.45%
歯科医師	61 / 113	53.98%
薬剤師	60 / 97	61.86%
病院地域連携室	17 / 27	62.96%
ケアマネジャー	100 / 123	81.30%
訪問看護ステーション	12 / 19	63.15%
地域包括支援センター	4 / 4	100%
行政	7 / 7	100%
<b>合計</b>	<b>366 / 548</b>	<b>66.79%</b>

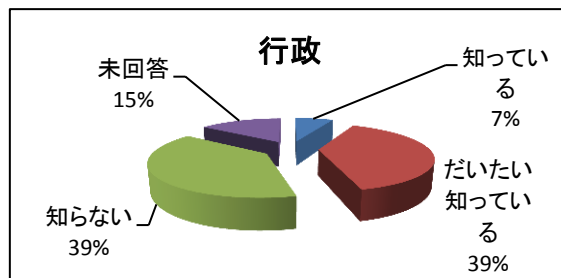
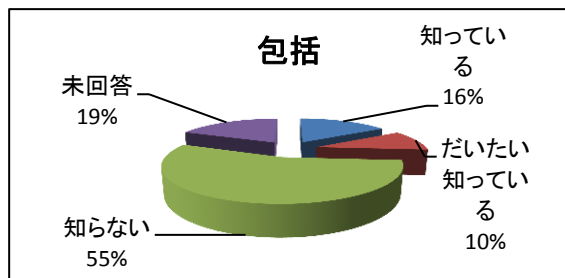
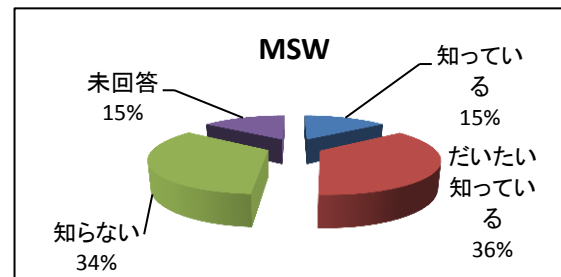
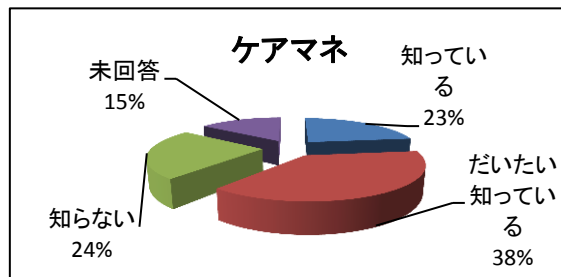
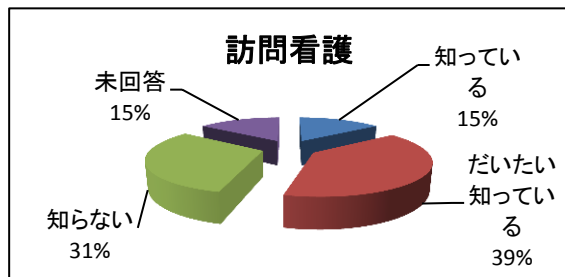
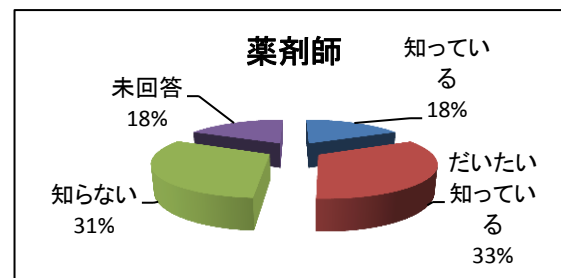
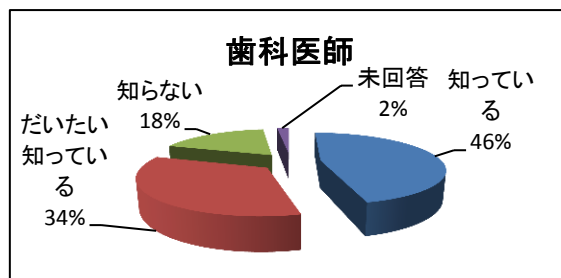
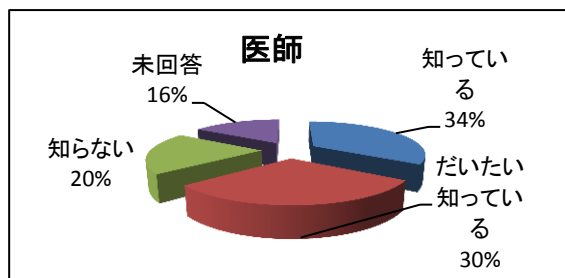
# アンケート結果

## 1) あなたの年齢をお聞かせください。

年齢については、50代(47%)、60代(25%)で、半数以上占めている。また、20代は1人もいない状況である。

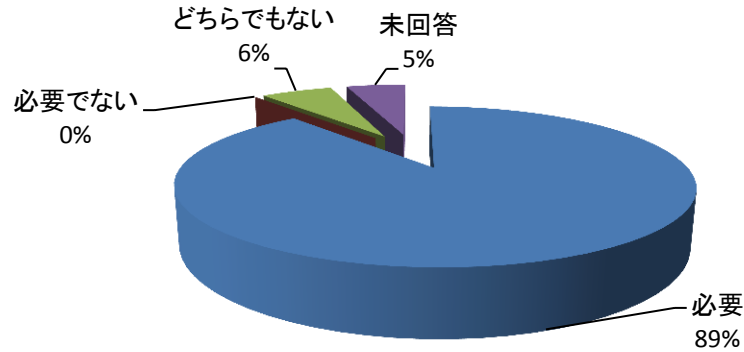


## 2) 在宅医療・介護の連携において、他職種の役割を知っていますか。



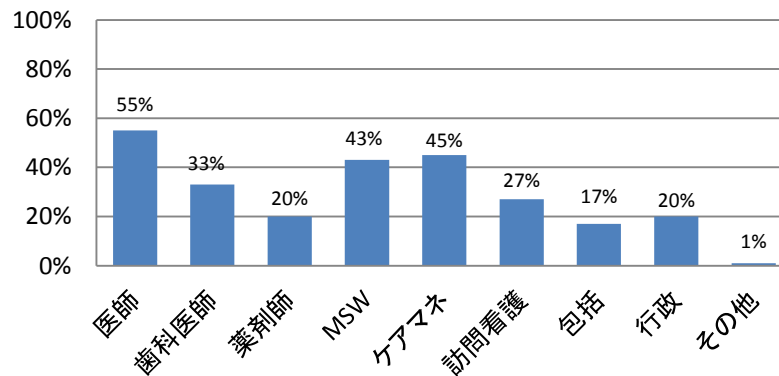
それぞれの他職種の連携における役割については、50%以上の歯科医師が「知っている」「だいたい知っている」と答えているものの、包括については、半数以上の歯科医師が「わからない」と答えている。

### 3) あなたは、在宅医療・介護の業務をする上で多職種との連携は必要と思いますか。



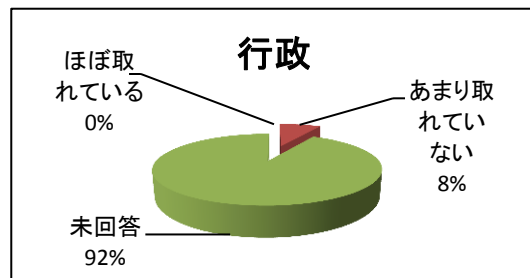
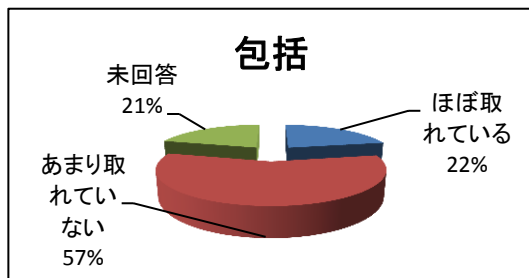
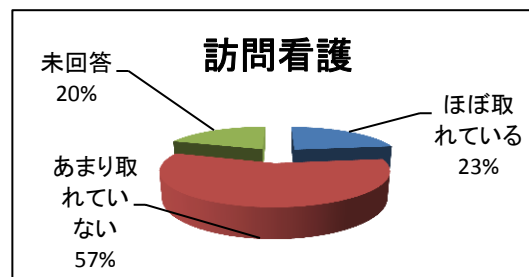
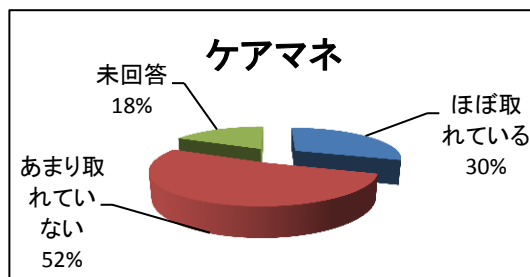
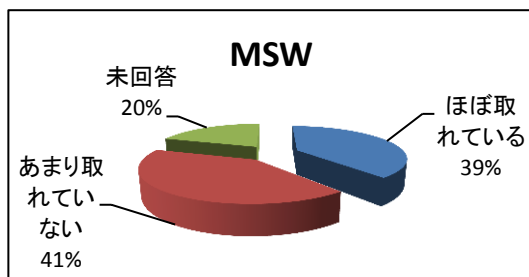
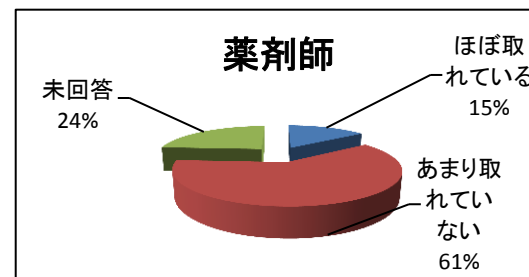
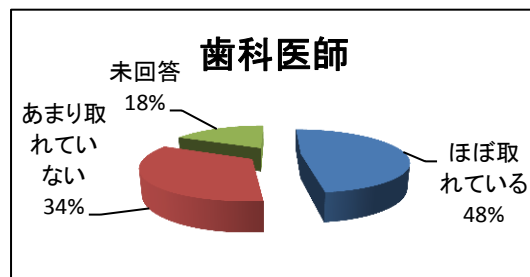
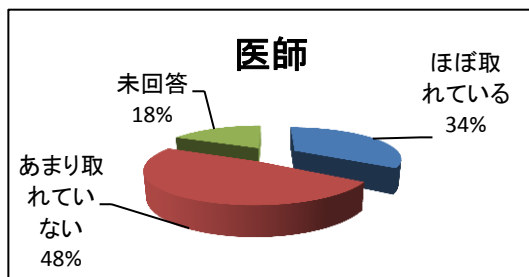
89%の歯科医師が「必要」と答えており、「必要でない」とした歯科医師は、1人もなかった。

### 4) どういった職種と連携していますか。



診療所医師と連携していると答えた歯科医師は55%で、次いで、ケアマネ(45%)、MSW(43%)となっている。また、歯科医師同士の連携は、33%に止まっている。

## 5) 多職種及び他機関の連携においてお聞かせください。



多職種及び他職種との連携については、歯科医師同士の連携では、48%の歯科医師が「ほぼ取れている」と答えており、その他の職種では、「ほぼ取れている」と答えている歯科医師は40%を下回っている。また、行政との連携においては、「ほぼ取れている」とした歯科医師は1人もなかった。

## 《阻害要因》

### 診療所医師

- ・接点がない。
- ・連絡方法に迷いを感じる。相手を知らない。
- ・患者紹介、照会のみです。Dr.からの依頼はほとんどなし。

### 歯科医師

- ・同業種ということで相談したり相談をうけたりして在宅医療を少しずつやりかけている状況。
- ・接点がない。

### 薬剤師

- ・接する機会がない。
- ・薬のことは連携している医師と取るので、薬剤師とは連携する機会がない。

### 病院地域連携室(メディカルソーシャルワーカー)

- ・あまり面識がない為。
- ・FAXするだけ。
- ・何か緊急事態とか紹介しなければならない事例、在宅患者に対しての相談など病院との連携は少しずつであるがとれている。

### 介護支援専門員(ケアマネジャー)

- ・接点がない。
- ・連絡方法に迷いを感じる。相手を知らない。

### 訪問看護ステーション(看護師)

- ・接点がない。
- ・必要なケースがない。
- ・担当者がわからない。

### 地域包括支援センター

- ・必要なケースがない。
- ・存在を知らないため。
- ・センターの業務を知らない。

### 行政

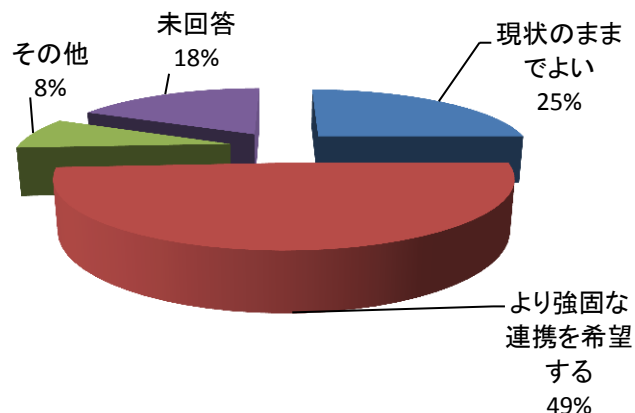
- ・接点がない。
- ・どういったところまで相談にのってもらったらよいのかわからない。
- ・情報が明示されていない。

### その他

- ・医療側介護側、家族側の要望がない。
- ・度をこえた個人情報の壁とかがありそうで連携をとりにくい。
- ・その他の職種との連携の機会がなかった為。

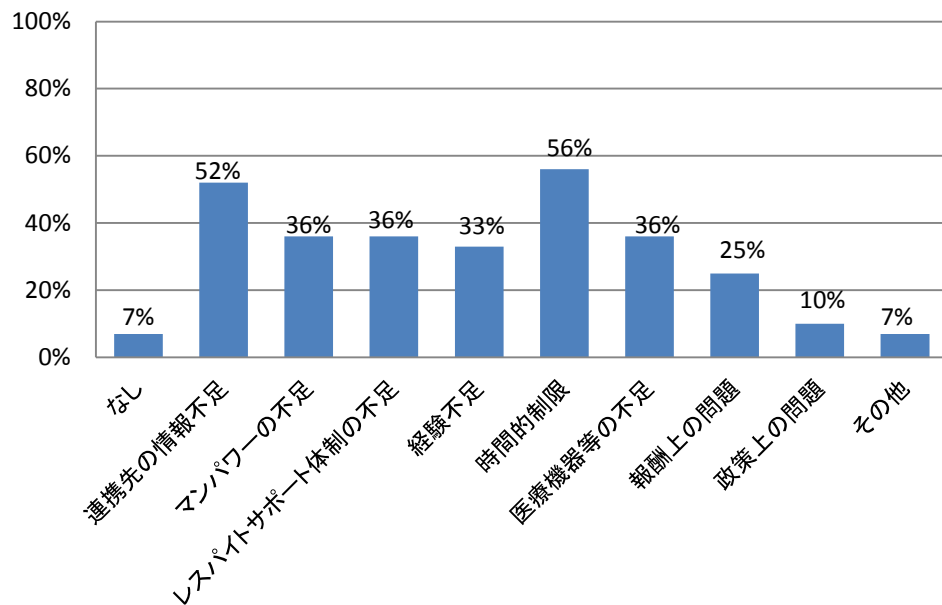


## 6) 今後の連携についてお聞かせください。



今後の連携については「現状のままでよい」としている歯科医師は25%で、「より強固な連携を希望する」とした歯科医師は49%であった。

## 7) 在宅ケア（医療・介護）について、できにくい阻害要因について、お聞かせください。



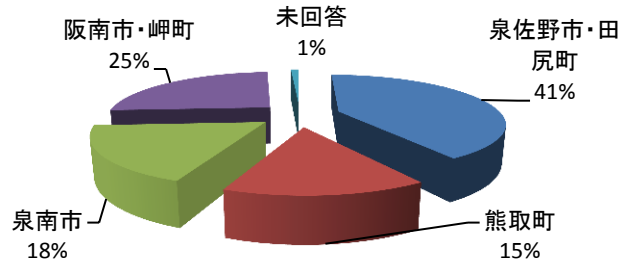
在宅ケア（医療・介護）のできにくい阻害要因については、「時間的制限」が56%、「連携先の情報不足」が52%、「レスパイトサポート体制の不足」「マンパワーの不足」がともに36%であった。

## 8) 在宅医療ケアに係る連携を構築する上での問題点や課題などをお聞かせください。

### 【抜粋】

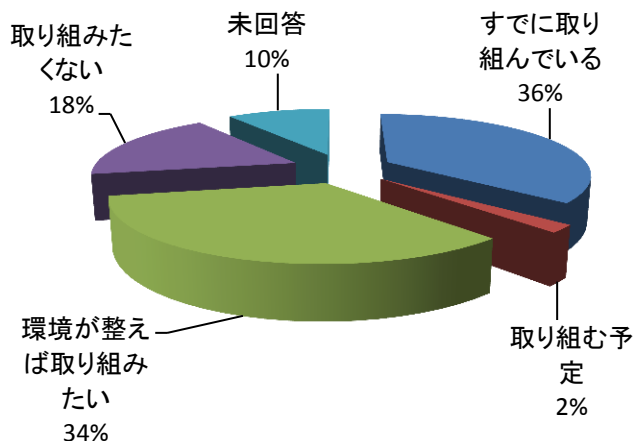
- ・地域でグループ化をして、常日頃から交流をもたないといけないと思う。顔の見えない人と連携するのは不安がある。
- ・現在全く連携がとれていません。まず、連携の取り方から教えて頂けますか？
- ・各職種が具体的にどのようにして、患者にかかわり、(こんなケースには、どこにどのように連絡すればよいか)あるいは、あるケースについて、具体的に各職種がすべき行動についてわかりやすく説明する場がほしいと思う。
- ・各々個人の能力、職種の中で充分力を出していると思われるが、統括的に把握している機関がないため、個人個人のつながりの中で、他職種と連携している。そのため、線が細く十分に力を発揮していないように考えられます。主体になるべき行政の働きが大切ではないでしょうか。
- ・とにかく、情報が少ない。各病院等で各人が対応している感じがする。何か中心になる所があれば、もしくは、あるならその情報が全体に伝わればもう少し良くなるかと思います。
- ・こちらの積極性が足りないのかもしれないが、相手にされてない気がする。
- ・親睦会のようなものが定期的にほしい。顔見知りにならなければ積極的な連携は図りにくいと思います。
- ・歯科の場合、治療用チェアがなければ治療そのものに危険を感じることもある。例えば、治療用のライトでないと視野の確保が難しい。ベット上の体勢では誤飲のおそれがある。歯科は外科的処置が多い為、基本的に在宅医療では難しい局面が多い。

9) あなたの開業または所属している医療機関若しくは事業所の所在地を教えてください。



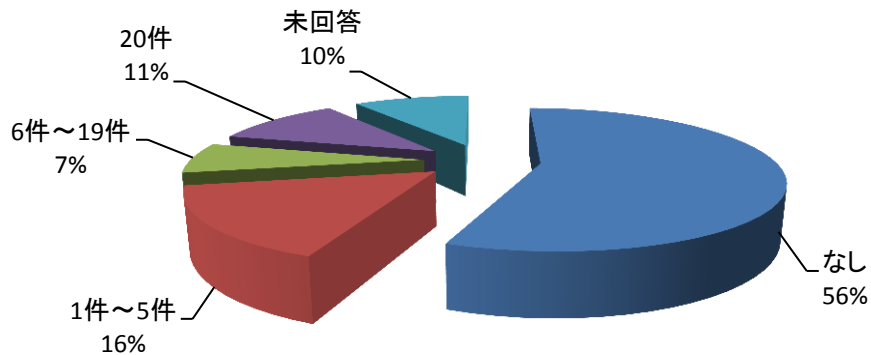
回答者の41%が「泉佐野市・田尻町」が、所在地である。また、25%が「阪南市・岬町」であった。

10) 在宅における口腔ケア・診療の取り組みについて、お聞かせください。



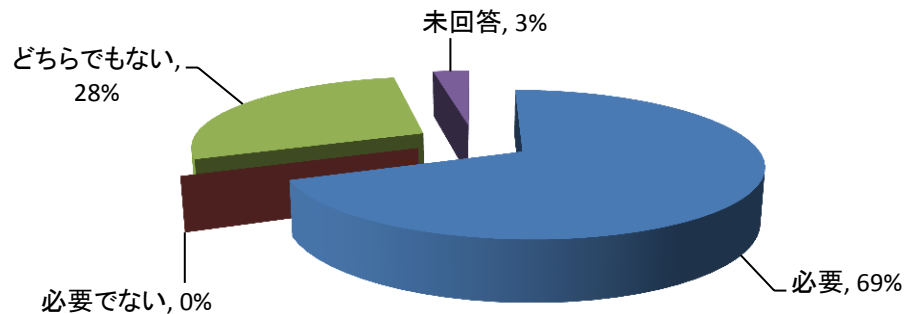
- ・「すでに取り組んでいる」(36%)
  - 年間1920回の歯科医師もいれば、数回の歯科医師もいる
- ・「環境が整えば取り組みたい」(34%)
  - どのような環境が整えばいいですか(抜粋)
  - ・多職種及び他機関との連携が整えば
  - ・器械、機具が揃えば、車ごと移動できるミニ診療室のようなもの
  - ・歯科医師会や医師会との連携
  - ・マンパワー
  - ・医薬機器等の不足
  - ・介護保険においてケアプランの中での歯科に関する部分が少なすぎる
- ・「取り組みたくない」(18%)
  - 理由(抜粋)
  - ・人手が足りない、一人では無理、報酬が低すぎる
  - ・十分な診療が行えない(歯科)
  - ・専門的な設備が必要なため、現時点で設備等のそろっているDr.におまかせしたい

## 11) 在宅診療の件数を教えてください。(報酬に関わらず、月平均)



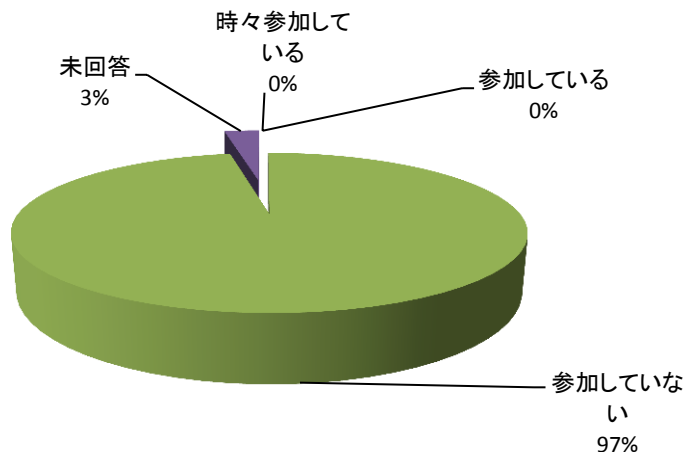
在宅診療について「なし」と答えた歯科医師は56%で、在宅に関わっている歯科医師は、34%であった。

## 12) 多職種と連携する場合、情報を共有するためのツール(連携シート等)が必要と思いますか。



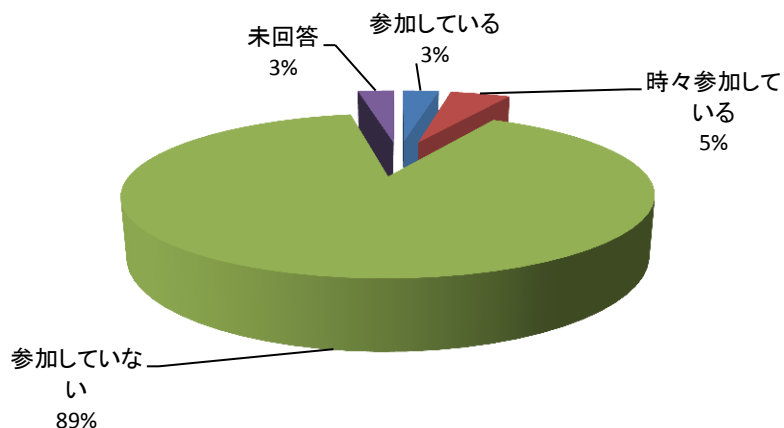
連携シート等については、69%の歯科医師が「必要」と答えており、「必要でない」とした歯科医師は1人もなかった。

### 13) 病院が開催する退院する患者の退院前カンファレンスに参加していますか。



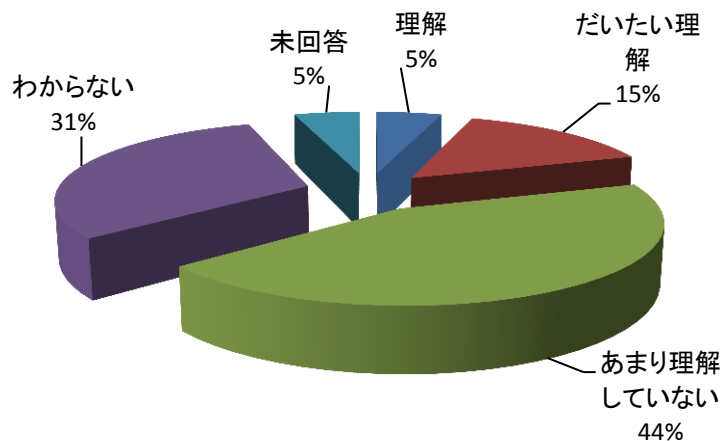
退院前カンファレンスには、97%の歯科医師が「参加していない」と答えており、「参加している」「時々参加している」と答えた歯科医師は1人もなかった。参加できない場合の連携の取り方を医師会圏域で決めていく必要があると思われる。

### 14) ケアマネの開催するサービス担当者会議に参加していますか。



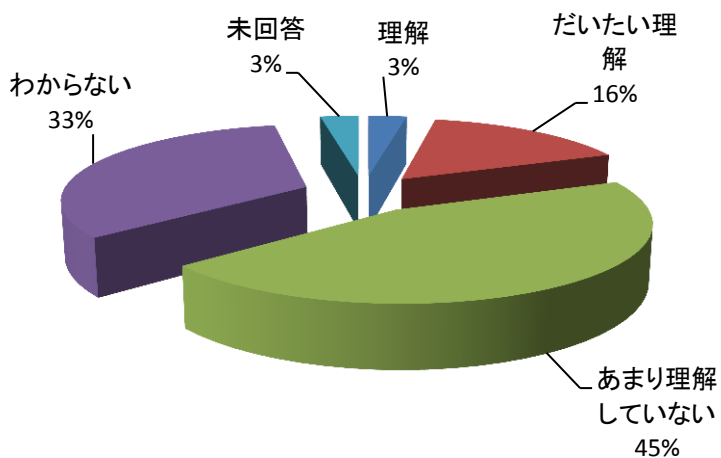
サービス担当者会議には、89%の歯科医師が「参加していない」と答えており、「参加している」「時々参加している」と答えた歯科医師は合わせて8%であった。参加できない場合の連携の取り方を医師会圏域で決めていく必要があると思われる。

## 15) 地域包括支援センターの活動を理解していますか。



地域包括支援センターの活動を「理解している」(5%)、「だいたい理解している」(15%)で、合わせて20%の歯科医師が「地域包括支援センターの活動を理解している」と答えている。また、「あまり理解していない」(44%)、「わからない」(31%)と、答えた歯科医師は、合わせて75%であった。

## 16) 地域包括ケアシステムについて理解していますか。



地域包括ケアシステムの理解については、「理解している」(3%)、「だいたい理解している」(16%)で、合わせて19%の歯科医師が「地域包括ケアシステムについて理解している」と答えている。また、「あまり理解していない」(45%)、「わからない」(33%)と、答えた医師は、合わせて78%であった。

17) 在宅診療に取り組んでいる方にお伺いします。多職種職種との連携において、うまく連携が図れた例、連携が図りにくかった例などを教えてください。

【うまく連携が図れた例】

- ・ 医師からの紹介で患者の訪問を行った際、情報を正しく教えてもらった。
- ・ FAXやTELにより、密に連絡している。
- ・ 在宅診療は、過去に3件程度。老健、特養のみの診療なので、施設の管理医師、介護スタッフとの連携はとれている。
- ・ 病院入院患者の往診だったので、担当医と連携がとれた。
- ・ 以前勤務していた時にケアマネを通じて月1回情報提供していただいていた時は、やりやすかった。
- ・ ケアマネジャー側からの詳細な情報(医師、リハビリ、口腔ケア、などの現状、予定、要望等)を事前にFAX等で受け取れた時。
- ・ 患者の主治医との診療情報提供が順調に対応して頂ける事。
- ・ 報告書の型でケアマネには連携をとっているが、その時により必要な場合はケアマネより連絡が入る。
- ・ 患者様の情報について問い合わせたところすばやく対応してもらえた。

【連携が図りにくかった例】

- ・ 認知症の直接診療。特に外科処置で現在の症状がよくわからなかった。
- ・ 連携したことがない。
- ・ 以前勤務していた時にケアマネの会議にDr.が参加しておらず情報がなかったので直接連絡を取ったが、手続きをきっちりふんで下さいとのことで1~2週間返事を待つて患者様に治療をすることが出来なかった。
- ・ 個人情報の漏洩の関係から、必要な情報がなかなか伝わって来ない事。
- ・ 一方的な診療依頼(口答が多い)のみで情報をいただくことがほとんどない。

## ★ 他の職種に対してのご意見・ご要望（抜粋）

### ①診療所医師に対して

- ・訪問をされている先生と、そうでない先生で訪問に対する理解に差を感じる。
- ・電話でやりとりできる、顔や性格も知っているような仲間にならなければ、なかなか・・・。
- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい。
- ・口腔ケアの重要性の認識をしてほしい。

### ②歯科医師に対して

- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい
- ・病歴や家族情報等を把握したい

### ③薬剤師に対して

- ・個人情報に関係もありますが、医療者サイドからある患者が処方を受けている薬剤内容の照会ができれば便利と思う。
- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい。
- ・服用内容と副作用情報がもう少し詳しくほしい。

### ④病院地域連携室に対して

- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい。
- ・歯科医、歯科衛生士を活用してほしい。

### ⑤介護支援専門員に対して

- ・医院に付き添ってきてはいるが、その患者の状況はあまり、理解していない方もおられるようです。
- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい。
- ・在宅診療において、内科的な情報、特に感染症の有無の確認に対しての対策をして頂きたい。
- ・口腔ケア等の必要性は理解している様だが、積極的に歯科医師を利用してほしい。
- ・口腔ケアが必要な場合、プランに入れてほしい。
- ・一度、集まって情報を共有したい。

### ⑥訪問看護ステーションに対して

- ・存在を知らなかった。
- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい。
- ・歯科に係る訪問看護内容について連絡が頂きたい。
- ・口腔状態や口腔内観察を心がけてほしい。
- ・一度、集まって情報を共有したい。

### ⑦地域包括支援センターに対して

- ・介護の中心的役割を担ってほしい。
- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい。
- ・地域連携の中心的な役割を果たしてほしい。今のところ全く不十分と思う。
- ・どこにあるのでしょうか。
- ・一度、集まって情報を共有したい。

### ⑧行政（市町及び保健所）に対して

- ・窓口、時間など連絡しやすい環境を作ってほしい。
- ・高齢者への口腔環境の維持管理の啓蒙活動に力を入れて頂きたい。
- ・予算等大変と思うが、この問題に積極的な関与を務めてほしい。
- ・患者、家族の要望の把握。
- ・一度、集まって情報を共有したい。

### ⑨その他（マスコミ）に対して

- ・このアンケートは記名式の方がいいと思います。アンケート内容から誰が書いたものか推測できます。